



成17年8月1日
平飯用 賀出 報次所
TEL. 3700-3657

号者局
任 務
65歳務
行 第
第発事

安全は『おはよう』から

用賀四丁目 工藤祝生
京西小学校も新学期が始まり、はや四ヶ月が過ぎようとしています。

黄色い帽子の一年生も、だいぶ学校生活に慣れて来ました。毎朝、子ども達が登校する時、よく見かける光景は、地域の方々からの『おはよう』の声掛けをして頂く姿です。

挨拶一つするのも難しい今日この頃です。しかし、このような地域の方々の暖かい、思いやりある姿を見るにつけ、京西小の子ども達も、本当に地域のみなさんに見守られているのだと実感しております。

『おはよう』の一言が、多くの人と人の心を近づけてくれると信じています。もしかしたら、どんな防犯活動よりも有効かもしれない。こんな、こういう用賀の地域に住み、子育て出来ることをありがたく感謝しております。これから暑掛けを宜しくお願いたします。

(京西小学校PTA会長)

子どもは地域で健全に育てよう

用賀小学校長 林澤 啓
夏休みは、子ども達にとって自由な時間が増え、また、よりいっそう成長する良い機会です。

学校でお預かりしていた子どもたちを各ご家庭や、地域にお返しすることになります。是非、身近にいる子どもたちに関心をもってもらいたいと思います。地域行事等で、顔見知りの子どもには積極的に声をかけて関わりをもつようにしてください。その事が、地域の大きな教育力となるからです。学校も含めて地域社会で子ども達は育っています。地域の子ども達をよろしくお願いたします。

夏 元気に安全に

熱中症に気をつけよう

用賀三丁目 池田良夫
突然、呼吸が苦しくなったり、時には過呼吸や意識不明になる熱中症の、本当の恐ろしさを知ってほしい。

救急車で運ばれる人だけでも毎年六百人以上、うち死に至る人が数を断たない。熱中症は、屋外の日射病だけでなく、屋内でも、気温があまり高くなっても起る。

体温が急に上り調節が出来なくなると、意識が混濁して時には失神したり、衣服を全部脱いでしまったり、突然水の中に飛び込んだりと、本人が全く覚えていない行動をとります。

予防法は、適時、水分補給、塩分等のミネラルも充分に。

子どもの安全、安心

用賀三丁目 小柳敬子
用賀小学校では、子供達の安全に對して色々取り組みんでいます。その中でも今年度新たに『ふれあい登校デー』を実施しています。この活動は、月に一度決められた日に、保護者が子供と一緒に登校することです。保護者同士や、地域の方々と、あいさつを交わすことにより、顔なじみになり、学校と保護者だけでなく地域社会全体で子供達を育て見守るという目的があります。地域の目が加わることで、子供達の安全と、そこに住んでいる人達の交流が防犯につながる、地域の安心になる気がします。

(用賀小学校前校長 金井 良)

まちの安全

用賀三丁目 高橋 清
夏休みに入ると、子供は勿論、大人も少し解放され長期間、家を留守にする事が多くなります。

空き家は、その機会を狙っています。又、痴漢や、ひったくりも夏の期間に多く発生します。

工用賀町会では、地域住民の安全意識を一層高めて行く為に、新しく『地域安全の日』の垂れ幕を作成しました。

その垂れ幕を、町内三十ヶ所に、毎月二回位掲出し、夏だけでなく、常日頃防犯意識を高め、今後とも安全、安心のまちづくりを進めたいと思っています。

(工用賀町会副会長)

木洩れ日

用賀三丁目 須田 恭次
昭和は遠くなりにつけ、だからと云う事ではないでしょうが、再来年から、四月二十九日のみどりの日は昭和の日に衣替え。

間もなく、八月十五日、今年も終戦の日が巡り来る。満州事変に始まり、太平洋戦争、大東亜戦争、第二次世界大戦等、色々な名称で呼ばれる。昭和の戦争。ポツダム宣言受諾で終戦となり、長く極東国際軍事裁判、新憲法制定、自衛隊創設への歩み、さまざまな足跡を残し、時代は昭和から平成へ。

そして、戦後六十年。平成時代も十七年目。戦争を知らない子らが、今や日本社会の中核を支えている。

私たち一人一人は、時の故人。戦争の時代を体験した世代は、如何なる理屈を付け様と戦争は悪、平和を守る為の戦争など決して無い事を確認し合ひ、次の世代に伝えて行かなければならない。

八月十五日は、日本人にとって一番大切な『平和の日』である筈です。

それにしても、昨年来、各種自然災害に加え、事件事故が続きます。

身近な地域社会での子育て、まち育を通じて、平和な市民生活を守って行きたいものです。



☆ ひろば ☆ 希望の方は出張所においてありますのでどうぞ

回 覧

郷土紹介

玉川第一遊園地

三子玉川 郷土会会長 池田良夫

私欲の沿線には、乗客誘致のために色々な施設（テーマパーク）が作られた。京王花園、堀切菖蒲園、豊島園など、行楽の地として人々を多く集めた。

玉川電気鉄道（五世）も開業当初から、瀬田と三子玉川の中間に遊園地前駅を作り、桜の木を次大夫堀（現丸子川）に沿って植えて、瀬田玉川神社の南側の斜面に、広場と池、小動物の小屋、大きな鳥籠などを配し、上野の円形博覧会の建物を移築して、京都の清水寺の舞台の様に、玉川関から多摩川への展望と樹木の間に、迷路の様な回遊路が配された。

この街に住んで

玉川町目 山室俊一

田圃の中をゆたりと、砒素の電車がカーブを大きく曲って走って、中耕地の畝に止まる。

車窓からは、砂利穴、小学校の校舎、玉川神社へ上る坂、そして道路に寄り添うように並んで建つ何軒かの民家が見える。

こんな情景が、玉川四丁目の風景だった。

変貌する街

住宅公園の園地が出来て、東急電鉄の分譲地に一戸建の住宅が建ち始め、郵便局と電話局が移って来たのが、昭和三十一年の暮りの頃だったと思う。

人口が急増して、商店街が園地の入口を中心に拡大していった。玉川高島屋ショッピングセンターが開業して、街の

ていた。

浅草の花屋敷の経営者に企画と経営を委嘱した様子が、会社の株主への年次報告書からうかがえる。

その後、今の瀬田電話局の前あたりには本場が整備され、運動会の会場などに利用された写真が残っている。

若山牧水が早稲田の学生の時、脚氣を病み療養していたのもこのあたりで、その時の恋の歌が兵庫島に歌碑となっている。

身延山開東別院玉川寺の勝致が次子、お寺が建立されると駅名も変更された。昭和十九年にこれ等の施設は閉鎖され、その土地は地主に返されその後刻は終った。



表情が一変に変わった。

それまでは、兵衛島や三子玉川遊園地への行楽の客としてやって来た人々に比べて替わり、自家用車での買物客が到来するようになった。

そして街は、「静けさから動けへ。混雑した繁華街へと変貌した。

この土地に生まれ育った者には、便利になったという変化を喜び、反面、あまりにも急激な発展に戸惑いも感じている。

若者にとって今やニコたまに住むことは、一種の流行や、憧れにさえなっている。時代の流れを思うと共に持ただった昔の玉川の良さを懐かしむ今日この頃である。

第三のふるさと用賀

用賀町目 掛川延夫

私がこの町に来たのは昭和四十三年の暮でした。

辺りは田舎風情も豊かに、道路は何処も砂利道で、夕立でも40ミリ降ると辺りの土砂を集めて濁流が我が物顔に流れる様を思い起します。

大雨のあとは、押し流されたごみが側溝を塞ぎ、リマカーを引いて掃除する人の姿を、度々見かけたものです。

高度成長の中で都市計画も進み、道路や側溝も整備され、水害に悩まされることもなくなりました。

街には高い建物も年毎に増えて街並も変貌する中、丘電車も地下鉄に替わりバス・ミニナルも出来、大変便利になりましたね。

スポーツ

今年の夏の行事

へ催しもの

ふるさと区民まつり（馬車会）

8月6日（土）7日（日）

金踊り

用賀小学校やぐらの会

8月19日（金）20日（土）

花火大会

川崎市制記念多摩川花火大会

8月20日（土）PM7時〜8時

用賀納涼の夕べ

8月22日（月）PM4時〜7時

用賀いらか道

へお知らせ

今年度地区防災訓練の予定

10月2日（日）

AM9時30分より

新公園「ねむのき広場」

（用賀出張所より）



わが故郷

最近では車よりも電車で出掛ける事が多く減りました。代々木公園への花見のつもりが、来た電車は東武動物公園行でしたので、思いがけなく動物園へ行ってしまう。

六月には足利の藤を見に、浅草から東武電車に乗り替えば直達で行ってしまう。

「また田舎へ帰ろう」と思ったこともありましたが、年毎に変わっていく町に生活の利便性を感じています。

この町に住んでて良かったと実感する今日この頃です。

（用賀町会会長）



私が「ひろば」の編集に瀬田地区担当としてたずさわりはじめ、はや九一年になりました。

年に三回発行される「ひろば」ですが、これまで都外者として漠然と目を通して来た時には分らなかった大変さが、痛いほど身にしみます。

二十数年の永きにわたる「ひろば」の発行を続けてこられた諸先輩方のご苦労と、地域に対する愛情と情熱には、つくづく頭が下がります。

反ばずながら私も、原稿を頂きに瀬田の地域の皆様の間を駆け回りますので、どうぞよろしくお願い致します。

（栗野）